

社会福祉法人 牧羊会 2025年度事業報告

【法人本部】

1 法人組織

①法人

評議員（7名）、 理事（6名）、 監事（2名）
評議員選任・解任委員会（3名）、 苦情処理第三者委員（2名）

②業務委託

会計：株式会社 PPC（小林会計事務所）、 社労士：長澤労法管理事務所

2 法人の事業

事業区分：社会福祉事業

拠点区分：①法人本部、②ベテル保育園

3 運営方針

①法人本部

- ・キリスト教精神の隣人愛に基づき、利用者本位の施設運営（経営）に取り組む。

②ベテル保育園

- ・キリスト教精神に基づき、神と人ともに愛されていることを実感できる保育を行う。
- ・園児の命を尊びかつ人権に配慮し、平和で温かな家庭的保育を行う。
- ・感性が豊かに磨かれ創造性が伸びるよう、様々な体験や遊びを取り入れた保育を行う。
- ・家庭との緊密な連携のもとに、園児の状況や発達過程を踏まえ保育を行う。

4 理事会及び評議員会等の開催状況

（1）理事会

	開催日時	主な審議事項
第1回	2025年5月18日	2024年事業報告及び決算、評議員選任・解任委員会の招集等
第2回	2025年6月14日	理事長の選定等
第3回	2025年12月28日	2025年補正予算、定款細則変更等
第3回	2026年3月29日	2025年補正予算、2026年事業計画及び予算就業規則変更等

（2）評議員会

	開催日時	主な審議事項
定時	2025年6月14日	2024年計算書類及び財産目録

（3）評議員選任・解任委員会

	開催日時	主な審議事項
	2025年5月25日	評議員の選任

5 監事による監査

	開催日時	監査業務
	2025年5月17日	2023年度事業報告及び決算、監事監査報告書作成
	2025年5月18日	理事会出席
	2025年6月14日	理事会・評議員会出席
	2025年12月28日	理事会出席
	2026年3月29日	理事会出席

6 その他

- ・定員を70名としたことで、財政的な安定が見込まれた。今後も定員確保に努める。
- ・土地建物の取得で、園の多機能化へ前進することができた。
- ・園舎の改修等も随時行うことができ、清潔で安心な環境での保育を行えた。
- ・職員にとって働きやすい環境を整備し、離職防止に努め、職員の質の確保に努めた。

【ベテル保育園】

1 保育園の運営状況

- (1) 定員 70名 0歳児…8名、1歳児12名、2歳児12名、
3歳児…12名、4歳児…13名、5歳児…13名

- (2) 年齢別・月別入所児童数（各月初日現在）【年平均：71.8人】【前年平均：67.1人】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0歳児	4	5	5	7	8	8	8	8	8	8	8	8	85
1～2歳児	26	26	27	27	26	27	27	27	25	25	25	25	313
3歳児	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	163
4才児以上	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
計	68	69	70	72	72	74	74	74	72	72	72	72	861

- (3) 開園日・開園時間及び休園日

開園日 月曜日～土曜日

休園日 日曜日・祝祭日・年末年始（12月29日～1月3日）

開園時間 7時15分～18時15分（11時間）

保育時間 ①標準時間保育 7時15分～18時15分（11時間保育）

②短時間保育 8時45分～16時45分（8時間保育）

- (4) 職員の状況

①職員数

2025年4月 1日 30名

2026年3月31日 28名 園長1名、保育士18名

保育補助2名

栄養士1名、調理員4名

看護師1名、事務員1名

- (5) 職員会議の状況

①職員会議

毎月1回程度、保育に支障のない範囲で保育士が参加し、保育月案・週案の計画や報告に基づき、各担任の保育反省および目標等を確認すると共に、各クラスの様子や気になる子などの様子を共有し、保育内容の確認なども行った。

また行事等の打ち合わせなども随時行い、必要に応じて振り返りを行い、今後の課題等を話し合った。

②給食保健会議

毎月1回、業務に支障のない範囲で栄養士、調理員、看護師、保育士が参加し、毎月の報告や連絡を行った。保健関係では、感染症の発生状況や、予防などを確認し合った。給食においては、主にアレルギー児への対応の他、毎月の給食メニューなどについて話し合った。また職員への栄養指導も併せて行っている。

③UP会議

園長・主任・副主任において、保育の質向上のため、保育内容、人材育成について話し合った。今年度は、リーダーも含めた会議を複数回実施した。

④乳児会議・幼児会議

0・1・2歳児、3・4・5歳児クラスに分かれ、月1回、課題の共有、保育内容の検討、配慮児への対応等を話し合った。

*会議の内容を記した会議録を全職員に回覧し、職員間の共通理解に努めている。

- (6) 職員の研修状況

①園内研修

＊保育士（常勤）：自然環境を使って遊ぶ、ドキュメンテーション作成

4月11日、6月6日、7月31日、10月3日、12月5日、2月6日

＊保育士（非常勤）：ドキュメンテーション作成

5月30日、7月25日、9月26日、12月1日、1月30日

＊調理員：業務改善、衛生管理、食事の提供ガイドライン等

5月23日、9月27日、1月8日、1月23日、2月14日、3月20日

＊食育：年間食育計画に従って実施した。

4月8日、5月1日、6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、10月2日、11月4日

12月2日、1月7日、2月2日、3月4日

＊保健・危機管理：病気症状について、プール監視、衛生管理、感染症対応等

4月8日、5月1日、6月3日、7月1日、10月2日、11月4日、12月2日

1月7日

＊新年度に向けた1日研修

3月20日（金・休）常勤職員、理想の園

＊毎月キ保連発行の「キリスト教保育誌」の学習会を常勤保育士向けに毎月行っている。

4月22日、5月20日、6月25日、7月23日、8月26日、9月25日、

10月23日、11月27日、12月23日、1月26日、2月24日、3月20日

②園外研修

＊保育・事務

・東京都社会福祉協議会保育部会 3研修 延べ13名

・キリスト教保育所同盟 3研修 延べ3名

・八王子市 10研修 延べ18名

・東京都民間保育協会 1研修 延べ1名

・島田療育センター八王子 2研修 延べ4名

・東京都福祉局 1研修 全職員

・保育士等キャリアアップ研修

乳児保育 2名、幼児教育 2名、マネジメント 1名

保護者支援・子育て支援 1名、保健衛生・安全対策 2名

＊給食・保健

・八王子市保健所 6研修 延べ6人

・八王子市 1研修 延べ1名

・東京都社会福祉協議会保育部会 4研修 延べ4名

・八王子市私立保育協会 1研修 延べ1名

・フレーベル館 1研修 延べ5名

・保育士等キャリアアップ研修

食育・アレルギー 1名

・上級救命講習（東京防災救急協会）

新規講習5名、再講習9名

2 保育の実施状況

（1）保育理念・保育方針・保育目標

理念：心豊かな人格を育てる。

方針：他者と共に生きる力を育む。

豊かな感性と創造性を培う。

目標：人を愛する子。

生き生きと表現する子。

※キリスト教精神の隣人愛に基づきつつ、厚生労働省による「保育所保育指針」に従い、子どもの情緒が安定するような生活環境を作り、自己を十分発揮して活動できるよう促しつつ、一人ひとりの子どもの命を大切にする保育を行う。

(2) 保育内容

年主題：「ともに」

※キリスト教保育連盟が毎月発行する「キリスト教保育」誌を参考に月の保育目標を設定し、子どもたちの発達に合わせた日々の保育や行事等を、毎月行う職員会議において話し合って計画し、実践をしてきた。

(3) 外部講師の指導状況

①運動あそび（0～2歳児・3才児・4才児・5歳児） 毎月1回

講師：藤原明美（日本遊育研究所）

4月14日、5月1日、6月9日、7月7日、8月4日、9月11日

10月1日、11月7日、12月5日、1月7日、2月3日、3月9日

②ドラムサークル（3～5歳児：たて割り2グループ） 年6回

講師：若林竜丞（チャイルド社より派遣）

5月13日、7月1日、9月2日、11月11日、1月27日、3月3日

※4歳児・5歳児クラスでは「親子でドラムサークル」を各年1回行った

4歳児：2月14日、5歳児：2月21日

(4) 主な行事

月日	活動内容	月日	活動内容
4.5	入園式	11.6	多摩動物公園（3-5歳）
4.21	花の日礼拝・訪問	11.17	収穫感謝礼拝
5.8	御岳山登山（5歳）	11.20	LaQ 教室（5歳）
5.14-15	施設訪問（5歳）	12.9	交通安全教室
5.28	親子遠足（3-5歳）	12.20	クリスマス会
6.4	プラネタリウム（5歳）	12.23	魚の解体ショー
6.16	家族の日礼拝	1.30	走ろう会
6.17	施設訪問（4歳）	2.14	親子でドラムサークル（4歳）
8.1	お楽しみ会、夜まで遊ぼうの日（5歳）	2.17	施設訪問（2-5歳）
9.4	観劇	2.20	恩方保育園との交流
9.9	祖父母交流（5）	2.21	親子でドラムサークル（5歳）
9.17	祖父母交流（4）	2.24	元木小訪問（5歳）
9.19	日の出山登山（5歳）	3.10	お別れ会
9.25	祖父母交流（3）	3.13	卒園式
10.11	みんなで遊ぼうの日	3.17	卒園遠足（5歳）
10.15	芋ほり（4・5歳）		
10.21	さんま会		
10.30	焼き芋会		

・6月末～8月に、幼児はプール遊び、乳児は遊びを行った。

・7月、1月に公開保育を行い、保護者に参観してもらった。

・新たに LaQ 教室と、交通安全教室を実施した。

・保幼小連携の試みとして、恩方保育園の5歳児の子どもたちと交流の時を持った。

(5) 家庭とのかかわり

①クラス懇談

4月1日の入園進級式に合わせ、各クラスで保護者との懇談を行った。

②個人面談

全園児（年1回）6月～7月、気になる子に関しては、随時行った。

③保育参観・行事参加・公開保育

- ・参観を希望する保護者などに、保護者1名に限定し、保育園での生活の様子を観てもらった。（主に誕生会）
- ・保護者参加行事については、感染対策を行い実施した。
- ・7月と1月に公開保育を開催し、園の様子、子どもの様子を保護者の方に直接、見て体験してもらった時とした。

④お知らせ等の配布

- ・入園のしおり（新入園児に配布）
- ・園だより（クラスだより・保健だより・給食だより）：毎月1回発行

⑤その他

- ・幼児クラスもできる限り保育士が連絡ノートを書くことで、保護者との関係を作った。

（6）その他

①障がい児（2025年度）

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
0名	0名	2名	0名	0名	6名	8名

②子ども家庭支援センター・児童相談所との連絡・調整

2家庭

- ・乳児・育児担当保育が初めての職員が数名おり、確認をしながら保育をしていたが、上手く伝えきれなかった。職員がしっかりと子どもの発達と興味を理解し、子ども中心の日々の生活を送れるように、皆で取り組んでいきたい。
年齢にあった遊びの提供は、できるクラスとそうでないクラスがあり、会議等によってアドバイスをを行い、環境作りを行った。積極的に工夫をしつつ保育を行っていききたい。
- ・幼児・グループ毎の遊びが重なるため、戸外と室内のグループ活動の時間を交代することで、遊びの充実をはかることができた。結果として、子どもたちの体力向上につながるとともに、グループ毎に違う活動テーマをもって探究活動を行うことができた。また、雨の日でもレインコートを着て雨を感じたり、散歩したりと、自然を活用し五感を使った活動も行うことができた。

3 給食の実施状況

（1）0歳児

家庭で飲んでいるミルクを園でも使用した。離乳食の場合、初めての食材は家庭で口にしたものを取り入れている。その子の月齢や離乳食の進み具合を考慮し、家庭と園とで連携をとりながら食材の幅を広げ、スムーズに離乳食が進むようにした。

（2）1歳児

昼食に加え、9時45分と15時のおやつを実施している。個々の状態に応じて、味付けを薄味にしたり、刻み方や大きさを変えたりして、喫食が進むようにした。

（3）2歳児以上

昼食と、15時のおやつを実施。

（4）おやつ（9時45分、15時）

基本的に手作りおやつを実施している。補食の意味もあるため、栄養量を考えたおやつ（食事）を提供している。

（5）アレルギー食の対応

アレルギー体質の子どもには「食品除去の指示書」（基本的には年1回）を提出して頂き、特に家庭との連絡を密にし、みんなで同じものを食べることを意識し、アレルギー物質が除去されている食材等を用いるなどして献立を作った。ただし、魚アレルギーの園児には、代替食での対応をし、誤食・誤飲を出さないよう徹底した。献立・調理も工夫することで、栄養量を保ちつつ、おいしい給食になるように今年度も努めた。

・食物アレルギー対応児0名：（他3名：鶏卵1・ナッツ類3）

（6）栄養指導

＜児童＞

・クラスに入りお米や食材等についての栄養指導を栄養士が行った。

＜職員＞

・毎月の給食保健会議において、献立に関連した食材等の栄養指導を行った。

＜保護者＞

・毎月、給食だよりにおいて、情報提供を含めた指導を行った。

（7）食育

＜児童＞

・各クラスにおいて野菜などの栽培を行った。

・田んぼでの稲作を、ひまわり組が行った。

・ひまわり組・さくら組は、サツマイモ掘りに出かけ、収穫を行った。

・各クラスで適時、クッキングを実施した。クッキングができないクラスは、食材に触れるなどした。

・焼き芋会や、さんま会、魚の解体ショーを行い、食への関心を促した。

・郷土料理（毎月1回）を提供し、全国各地の地方食・伝統料理を食した。

・出汁の飲みくらべ（幼児組）

＜保護者＞

・毎月の予定献立表の配布を通して、家庭での参考にしてもらった。

・玄関に展示食を見本として置き、盛り付けや量、具のサイズ等の参考にしてもらった。

夏季は、食品が腐敗して不衛生のため、写真的対応とした。

（8）衛生管理

＜クラス＞

調乳担当、授乳、食事介助、昼食、おやつ、配膳等において、保育士はエプロン・三角巾をしている。

＜厨房・調理スタッフ＞

・調理作業に伴い、調理服（上下）、エプロン、マスクおよび調理帽の着用。作業により手袋を使用している。手洗いの徹底、アルコール消毒・次亜塩素酸消毒で、器具等の除菌・殺菌に努めるとともに、厨房内のドライ運用を行っている。

・細菌検査（月1回）を行い、調理スタッフの健康・衛生管理を行っている。

・水質検査 厨房 6月19日（適合）、12月18日（適合）

・電解水を利用し、厨房内だけでなく、園内の衛生管理にも使用している。

4 健康・衛生管理の実施状況

（1）児童

①内科健診 4月10日、11月20日 （嘱託医：南多摩病院）

②0歳児健診 4月10日、5月8日、6月12日、7月8日、8月21日
9月8日、10月3日、11月20日、12月18日

1月15日、2月12日 3月5日 （嘱託医：南多摩病院）

- ③歯科検診 4月28日 (嘱託医：いちかわ歯科医院)
- ④新入園児健診 3月21日
- ⑤身体測定 毎月1回
- ⑥歯磨き、うがい指導 各クラスで、主任によるうがい指導やポスター掲示でやり方を促した。
(6～7月・12月)
- ⑦手洗い指導 各クラスで、看護師による手洗い指導を行った。(4月・11月)
 - ・報告すべき感染症 特になし
 - ・アレルギー児への対応
 - ・毎日の視診、つめ等の衛生検査、体調不良やケガ等の対応
 - ・毎朝の体温チェック

(2) 保護者

- ①毎月、保健だよりにおいて、情報提供を行った。
- ②集団感染予防として、保健だよりや掲示において、情報提供・注意喚起を行った。
- ③感染症時の手洗いの注意喚起、インフルエンザ発生状況を呼びかけた。
- ④園児の健康についての相談に電話や送迎時に対応し不安の軽減に努めた。

(3) 職員

- ①定期健康診断 5・6月
- ②細菌検査(「赤痢・サルモネラ・腸チフス・パラチフス・O-157」の検査)
毎月1回：全職員
- ③新入職員の上級救命講習5名受講。
受講後3年経過した職員は、再講習9名受講。
- ④毎月、給食保健会議で共通認識しておきたい事柄について話し合い、周知した。
- ⑤インフルエンザ予防接種を受けた。

5 非常災害危険防止等防災訓練の実施状況

(1) 避難訓練等

- ①火災(消火・避難・通報)訓練
4月30日、5月17日、6月19日、7月15日、8月26日、9月18日、
10月17日、11月22日、12月11日、1月8日、2月10日、3月18日
- ②地震訓練
5月29日(起震車による体験)、8月5日、10月17日、1月9日
- ③防犯訓練
11月13日(高尾警察署より指導を受けた)
- ④引渡訓練
9月1日
- ⑤炊出し訓練
10月29日

(2) 防火設備等の保守点検

- ①業者点検(年2回)
9月11日(異常なし)、3月5日(異常なし)
- ②自主点検(月1回)
4月30日、5月17日、6月19日、7月15日、8月26日、9月18日、
10月17日、11月22日、12月11日、1月8日、2月10日、3月18日

(3) 非常用備蓄物品等

保存水、保存用とん汁・けんちん汁、アルファ米白米、アルファ米五目御飯、

保存用ライスクッキー、保存用ビスコ、ハンバーグ、鳥と根菜のうま煮、災害食用ハイハイン
保存カレー、鯖味噌煮、米粉パン、かぼちゃスープ、ソーセージ、牛丼の具、
蓄電池、蓄電池用ソーラーパネル、手回し充電ラジオ、防災フリース毛布、浄水器、マスク
アウトドアガスボイラー、トイレトペーパー、ティッシュペーパー、ハンドペーパー、
オムツ、おしりふき、災害用トイレ、災害用トイレ TENT、災害用哺乳ボトル、等

6 地域等との関わり

(1) 地域団体・施設・住民と実施した交流事業

4.21	式分方郵便局（3 歳）	地域の施設
4.21	ご近所、緒方クリニック（4 歳）	地域の方
4.21	西寺方駐在所（5 歳）	地域の施設
5.14	山水園交流（5 歳）	地域の老人施設
5.15	恩方市民センター訪問（5 歳）	地域の施設
6.17	愛の家訪問・交流（4 歳）	地域の老人施設
10.15	芋ほり（4・5 歳）	地域の農家
10.26	恩方市民センター祭り参加（5 歳）	地域の団体施設
2.17	愛の家訪問・交流（2 歳）	地域の老人施設
2.17	山水園（3 歳）	地域の老人施設
2.17	恩方郵便局・多摩信恩方支店（4 歳）	地域の施設
2.17	元八王子消防署・諏訪交番・教会（5 歳）	地域の施設
2.20	恩方保育園・交流（5 歳）	地域の施設
2.24	元木小学校訪問（5 歳）	地域の施設

(2) 実習・職業体験・ボランティア

①小学校・中学校・高校

恩方中学校 2 年（3 名）4 日間

元八王子中学校 2 年（4 名）3 日間

②専門学校・大学

東京立川こども専門学校 1 年（1 名）5 日

(3) 地域子育て支援

①園庭開放 年 30 回（基本的に、園行事のない金曜日）

対象：未就園児と保護者 時間 10 時～11 時 15 分

年間延べ利用家庭数 0 家庭

(4) 地域における広域的な取組

①べてるクラブ（内容：保育園で遊ぼう 対象：近隣小学生）

年 6 回（基本的に、各学年ごとに実施）

1 年生：6 月 14 日：9 人、2 年生：7 月 12 日：13 人、3 年生：9 月 13 日 9 人

4 年生：11 月 30 日：5 人、5 年生：1 月 17 日：5 人、6 年生：2 月 28 日：13 人

7 苦情への対応

今年度、苦情の申し出はありませんでした。

8 第三者評価への取り組み

課題となっている、職員の中長期計画への参画や、保護者や地域への子育て支援の強化について
対応策を検討し、次年度には実施できるように計画を行っている。

9 施設保守管理、施設整備・補修

(1) 保守・点検

- ・ 建築設備定期検査（5月26日）→ 指摘なし
- ・ ダムウェーター保守（年6回）
- ・ 非常通報装置保守（年4回）
- ・ 空調機器保守（1階実施、地下階は次年度実施予定）
- ・ 衛生害虫駆除（適時実施）
- ・ 厨房内の機器や、事務機器等の保守点検等を適時行った。

(2) 整備・補修等

- ・ 0・1・2歳児床壁改修
- ・ 0歳テラス給水栓設置
- ・ 1階子どもトイレ改修
- ・ サンルーム遮熱フィルム設置
- ・ 土管遊具
- ・ 門扉設置（原っぱと別棟の間）
- ・ パソコン2台
- ・ チェスト2台（0歳児）
- ・ 引き出し付き収納棚（1歳児）
- ・ 絵本棚2台
- ・ 哺乳瓶用熱風消毒保管庫
- ・ くぎってフェンス2セット
- ・ エアコン1台（別棟）
- ・ 布団収納ワゴン（0歳児）

【法人本部】

社会福祉法人 牧羊会 2026年度事業計画

1 法人組織

①法人

- ・評議員（7名）、・理事（6名）、・監事（2名）
- ・評議員選任・解任委員会（3名）、・苦情処理第三者委員（2名）

②業務委託

- ・会計：小林 Accounting Office（小林会計事務所）・社労士：長澤労法管理事務所

2 法人の事業

事業区分：社会福祉事業 拠点区分：①法人本部、②ベテル保育園

3 運営方針

①法人本部

- ・キリスト教精神の隣人愛に基づき、利用者本位の施設運営（経営）に取り組む。

②ベテル保育園

- ・キリスト教精神に基づき、神と人ともに愛されていることを実感できる保育を行う。
- ・園児の命を尊びかつ人権に配慮し、平和で温かな家庭的保育を行う。
- ・感性が豊かに磨かれ創造性が伸びるよう、様々な体験や遊びを取入れた保育を行う。
- ・家庭との緊密な連携のもとに、園児の状況や発達過程を踏まえ保育を行う。

4 理事会及び評議員会等の開催

（1）理事会

	開催月	主な審議事項
第1回	2026年5月	2025年事業報告及び決算、役員等の選任
第3回	2026年11月下旬	2026年補正予算
第4回	2027年3月下旬	2026年補正予算、2027年事業計画及び予算

*必要に応じて、臨時の理事会を開催する。

（2）評議員会

	開催月	主な審議事項
定時	2026年6月20日	2025年計算書類及び財産目録

*必要に応じて、臨時の評議員会を開催する。

（3）評議員選任・解任委員会

	開催月	主な審議事項
	予定なし	評議員の選任

5 監事による監査

	開催月	監査業務
	2026年5月	昨年度事業報告及び決算 監事監査報告書作成
	2026年6月20日	評議員会出席、理事会の出席
	2026年11月下旬	理事会出席
	2027年3月下旬	理事会出席

*必要に応じて、法人の業務及び財産の状況を調査する。

6 重点項目

- ・経営の安定：実員の充足・選ばれる園
- ・園の多機能化（地域福祉）：だれでも通園の実施（子育て支援の充実）
- ・保育の質の向上：職員の確保および育成・研修等の充実

【ベテル保育園】

1 保育園の運営

＊所在地 東京都八王子市西寺方町 7 1 6 - 2

(1) 定員等 70 名 ＊0 歳児保育 → 産休明けより（生後 5 7 日目からのお子さん）

＊障がい児保育 → 障がいの種類、程度により可能な限り受入

(2) 年齢別入所予定児童数（2026 年 4 月 1 日・予定）

年	クラス	グループ		定員	実員	差
0歳	ちゅうりっぷ			8名	6名	－2
1歳	たんぽぽ			12名	13名	＋1
2歳	すみれ			12名	13名	＋1
3歳	ゆり	ひ つ じ	ら く だ	12名	10名	－2
4歳	さくら			13名	15名	＋2
5歳	ひまわり			13名	10名	－3
				70名	67名	－3

(3) 開園日・開園時間及び休園日

開園日 月曜日～土曜日

休園日 日曜日・祝祭日・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

開園時間 7 時 15 分～18 時 15 分

保育時間 (1) 保育標準時間認定 7 時 15 分～18 時 15 分（11 時間保育）

(2) 保育短時間認定 8 時 45 分～16 時 45 分（8 時間保育）

（慣れ保育：新入園児については慣れるまで保護者と担任で相談して調整）

(4) 職員の状況

①園長、保育士、その他職員の役割

園 長 園運営全般に関する業務の統括

保育士 保育に関わる業務全般、指導計画の作成、園内外の清掃及び遊具の安全管理

栄養士 献立栄養管理、衛生管理

調理員 給食調理全般、調理室の管理、食器の管理、食材の保管

看護師 園内（児童および職員）の保健衛生管理

事務員 園内の諸業務および事務・会計

嘱託医 内科・歯科

②職員の雇用状態：2026 年度＞30 名（常勤 20 名＋非常勤 10 名）＋嘱託医 2 名

施設長 常勤 1 名

保育士 常勤 12 名

保育士 非常勤 8 名

保育助手 非常勤 1 名

看護師 常勤 1 名

非常勤 1 名

栄養士 常勤 1 名

調理員 常勤 4 名

事務員 常勤 1 名

嘱託医 内科：＜南多摩病院小児科：散田町 3-10-1＞

歯科：＜いちかわ小児歯科医院：子安町 4-6-1PHI ビル 2F＞

＊若手職員への教育を丁寧に行い、短期離職を防ぎ、保育の質を高められるよう努める。

＊中堅職員を園の中核を担う職員となれるよう育成する。

＊職員への面談や、有給休暇の取得等で、職員のストレス軽減に努める。

③職員の編成（2026年度）

園長：1名

保育主任：1名、

保育副主任：2名（1名は「誰でも通園担当」）、副事務長：1名

保育リーダー：3名

保育分野担当：10名（常勤2名・非常勤6名）、食育分野担当：2名

※委員会

子育て支援：3名、避難訓練：4名、食育緑化：7名、安全管理：3名

＊休憩時間やノンコンタクトタイムを活用し、メリハリをつけた業務の実施を行う。

（5）職員の会議

①昼礼（全体）… 毎日

・前日からの子どもの様子、明日の予定等、報告・連絡など。

②職員会議（保育）… 月1回程度

・行事等に関しては、その都度、打ち合わせや反省等を行う。

③乳児会議（0～2歳児クラス）… 月1回程度

・育児担当保育について、他

④幼児会議（3～5歳児クラス）… 月1回程度

・異年齢保育について、障がい児保育について、他

⑤UP会議… 月1回程度

・主任及び副主任等によって、保育課題や人材育成等について情報共有及び検討を行う。

⑥カリキュラム会議… 年4回程度

・主任・副主任およびリーダーによって、保育内容の検討・環境構成について検討を行う。

⑦給食保健会議… 月1回

・栄養士、看護師、保育士等によって、給食献立や食育および保健衛生について話し合う。

⑧離乳食会議… 月1回

・栄養士、調理員、0歳児担任によって、離乳食の進み具合の確認、進め方等を話し合う。

＊会議以外にも、積極的にクラスでの話し合い等を行っていく。

（6）職員の研修計画

①園内研修

・課題研修（常勤保育士・非常勤保育士・給食） ・キリスト教保育誌から

②園外研修

・各分野（保育、事務、給食、保健等）毎に、各団体等が行う研修に、職務命令として参加。

＊主な主催団体

八王子市、八王子市保健所、東京都福祉保健局、東社協保育部会、

日本保育協会、全国保育協議会、東京都民間保育園協会、全国私立保育園連盟、

キリスト教保育所同盟等

・職員全員が上級救命講習を受ける（再講習も含めて）

＊主催団体：東京防災救急協会

2 保育

（1）保育理念・保育方針・保育目標

理念：心豊かな人格を育てる。

方針：他者と共に生きる力を育む、豊かな感性と創造性を培う

目標：人を愛する子、生き生きと表現する子

年齢別目標：

- 0歳児 個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を培い、機嫌よく過ごす。
- 1歳児 自分でしようとする気持ちを培い、外界に対する好奇心や関心を育む。
- 2歳児 自分を出せる関係の中で満たされ、かつ仲間と共に遊ぶ喜びを共感する。
- 3歳児 自分のしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現しつつ、相手の立場に気付く。
- 4歳児 互いを認め合い、つながりを広げ集団としての行動ができるようにする。
- 5歳児 一つの目標に向かい、力を合わせて活動し達成感や充実感をみんなで味わう。

異年齢保育目標：

- 3～5歳児 他者との関わり方、思いやりの気持ち、社会性や協調性を養う。

(2) 保育内容

2026年 年主題 「主イエスと共に」

- 「キリスト教保育」誌（キリスト教保育連盟出版）に基づく年主題、月主題、月のねがい等のカリキュラムを参考にしつつ、全体的な計画及び、年間案、月週案を作成し、養護と教育が一体的に行われる保育を行う。

*キリスト教保育（0，1，2，3，4，5歳児）

- 子ども一人一人の命を尊び、愛し、受け入れていくことで、子どもが自己肯定感を養い、さらには、他者の存在、命を、尊び、共に生きていくことができる豊かな心を培う。

*担当保育（0，1，2歳児）

- 授乳・食事及び排泄は、できる限り同じ保育者が行い、愛着関係を大切にすることで、安心して、保育園で生活し、世界を広げることができるように手助けする。

*異年齢保育：自由保育 ＋ 学年別保育：行事等（3，4，5歳児）

- 子どもが主体的に活動しつつ成長ができるように、環境を整えつつ、生活や遊びを行い、時には遊びを展開させ、次の発達へと導くなど、生活や遊びを通して発達を促す。
- また行事等については、主に学年別での活動を行う。

*障がい児保育

- 可能な限り障がい児の受入れに努める。障がい児保育にあたっては、医療・療育・巡回発達相談員等の各機関との連携に努め、保護者との協力の中、園児の保育を行う。

2026年度4月1日現在

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
0名	1名	0名	1名	1名	0名	3名

*他

- ・午睡 3～4歳児の午睡については、眠たくない子については、無理に寝かしつけは行わず、静かに起きて過ごす時間とする。5歳児クラスは、基本的に午睡は行わない。
- ・2歳児クラスの移行 1月に幼児組との交流を開始し、2月に部屋を移動し幼児組の活動に加わる。

(3) 外部講師

①運動あそび（0・1・2歳児クラス、3歳児クラス、4歳児クラス、5歳児クラス）

専門講師による指導：毎月1回、講師：藤原明美（日本遊育研究所）

②ドラム・サークル

専門講師による指導：年6回、若林竜丞他（チャイルド社）

(4) 主な行事予定

期	月	行事項目
1期	4	入園進級式・クラス懇談 内科健診 歯科健診 花の日礼拝・近隣施設訪問 (3・4・5)
	5	親子遠足 (3・4・5 [親子]) 施設訪問 (5)
2期	6	家族の日礼拝 プラネタリウム (5) 施設訪問 (4) プール
	7	プール 公開保育
	8	プール お楽しみ会、夜まで遊ぼうの日 (5) 観劇
3期	9	祖父母交流保育 (3・4・5)
	10	みんなで遊ぼうの日 内科健診 さんま会 芋ほり (4・5) やさいも会 恩方市民センター祭り (5)
	11	収穫感謝祭 遠足：多摩動物園 (3・4・5)
	12	クリスマス会 魚の解体ショー
4期	1	走ろう会 公開保育
	2	施設訪問 (2・3・4・5)、親子でドラムサークル (4・5 [親子])
	3	お別れ会 卒園遠足 (5) 卒園式

(5) 家庭とのかかわり

①懇談会

クラス懇談会 (4月)

①個人面談

全園児の保護者 (6月)

②保育・行事参加

・保育参観・保育参加

随時、希望する保護者には対応する (給食の試食も希望者には実費徴収で行う。)

・保護者参加

入園進級式、親子遠足 (3・4・5)、みんなで遊ぼうの日、
クリスマス会、親子でドラムサークル (4・5)、卒園式等

・公開保育

年2回 (夏と冬)、クラスごとに保護者に普段の保育の様子を見てもらう。

・祖父母参加

祖父母交流保育 (3・4・5)

③お知らせ等の配布

・入園のしおり

・園だより (クラスだより・保健だより・給食だより) : 原則毎月1回・配信

④その他

・連絡帳等での保護者とのやり取り

・必要に応じて掲示、メール等を用いて、情報提供や連絡を行う。

(6) その他

①子ども家庭支援センター・児童相談所等との連絡・調整

1家庭 (2026.4.1 現在)

※保育課題

乳児：育児担当保育を理解し、子どもの発達や興味を捉えた保育を進める

年齢に合う、自然に触れる保育や遊びを十分に行う

室内や戸外での環境を工夫し、設定していく。

幼児：子どもの興味を見極めながらテーマを決め、皆を巻き込んだ活動を進める
周りの自然に触れながら、自然を生かしたあそびを十分楽しむ
室内や戸外での環境作りを工夫していく。

3 給食

出汁のおいしさ、食材の持ち味をうまくいさせる和食を給食の基本とし、味覚の形成、栄養のバランス、咀嚼の習慣等を身につける。

(1) 方針

「マナーを身に付ける食事」 「メリハリのある食事」
「五感をきたえる食事」 「味覚を豊かにする食事」

(2) 配慮事項

基本的に手作りの料理
旬の素材を使い、出汁を使う薄味の和食料理
見た目においしく、食べておいしい料理
アレルギー食に配慮し「みんなが一緒に給食」を食べられる料理

(3) 栄養管理

栄養士がパソコンソフトの栄養計算を用い、厚生労働省“児童福祉施設における「食事摂取基準」を活用した食事計画”に基づいて毎日の献立の栄養計算を行う。

(4) 授乳・離乳食

授乳に使用するミルクは、家庭で飲んでいるミルクを使用。
離乳食は、初期→中期→後期→完了期と移行し、幼児食となる。
・初めての食材は、一度、家庭で口にしたものを取入れる。
・子どもの月齢や家庭での進み具合を考慮し、個別に離乳食を進める。

(5) 食物アレルギー

食物アレルギーに配慮するため、いわゆる食物アレルギー原材料27品目の内、12品目は一切使用せず、できるだけみんなが一緒に給食を食べられるように献立を工夫する。一方で食の経験を豊かにするために、食物アレルギー原材料以外の食材は、多種多様に用いて献立を立てる。

(6) 栄養指導

＜児 童＞・各クラスにおいて、パネルシアターなどにより食事の大切さを伝えたり、年齢にあった栄養指導を栄養士が行う。
＜職 員＞・毎月の会議にて、給食・栄養に関する指導を栄養士が行う。
＜保護者＞・給食だよりにて、食事・栄養に関する情報提供
・離乳食の指導等

(7) 食育

＜児 童＞・食材の栽培、食品の加工（下処理）、炊飯（米とぎ）、クッキング
焼き芋、さんまの炭火焼き、魚の解体、出汁の飲み比べ
郷土料理を給食メニューに毎月1回加える
＜保護者＞・毎月の予定献立表の配布
・玄関に展示食を見本として置く（夏の期間は写真）。

(8) 衛生管理

＜クラス＞・食事の準備や配膳等においては、保育士もエプロン・三角巾を使用する。
＜厨房・調理スタッフ＞・衛生チェック表を用い、毎日確認。
・全職員の細菌検査を毎月1回行う。
・水質検査を年2回実施する。

4 健康・衛生管理

(1) 健康管理

<児童>

- ①内科健診（年2回）南多摩病院小児科
- ②0歳児健診（月1回）南多摩病院小児科
- ③歯科健診（年1回）いちかわ小児歯科医院
- ④新入園児健診（3月、および随時）南多摩病院小児科
- ⑤身体測定（月1回）
 - ・登降園時の視診（毎日）
 - ・つめその他の衛生検査（週1回）
 - ・医師の指示に基づき、与薬を受け付け対応
 - ・医療機関と連携したアレルギー児への対応

<職員>

- ①定期健康診断（年1回）
- ②インフルエンザ予防接種（年1回）

(2) 保健指導

- <児 童>・各クラスにおいて、手洗い、歯磨き、うがい、鼻のかみかた等の指導を行う。
- <職 員>・給食保健会議で、健康・保健・衛生について指導、情報提供、周知を行う。
- <保護者>・保健だよりで、感染症や予防接種など保健の情報を保護者に知らせる。

(3) 衛生管理等

- ・集団感染予防（手洗いの励行、換気、消毒、保護者への情報提供）
- ・全職員の細菌検査（月1回）

(4) その他

- ・上級救命講習の受講および再講習

5 非常災害危険防止等防災訓練

(1) 避難訓練

- ①火災：毎月1回 ②地震：5月（起震車）、8月、10月、1月
- ③防犯：11月（警察） ④引渡：9月 ⑤炊出：10月

(2) 防火設備等の保守点検

- ①業者点検（年2回） ②自主点検（月1回）

(3) 非常用備蓄物品等

- アルファ米・保存用汁物・保存用お菓子・保存用飲料水
- トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ハンドペーパー、オムツ、マスク、消毒液等

6 地域等との関わり

(1) 地域団体・施設・住民との交流事業

- ・近隣施設への園児訪問
 - 花の日（4月）：ご近所、式分方郵便局、西寺方駐在所
 - 施設訪問（5月）：山水園、恩方市民センター
 - 施設訪問（6月）：愛の家
 - 施設訪問（2月）：愛の家、山水園、たましん恩方支店、恩方郵便局、元八王子消防署、諏訪交番、教会
- ・園行事での交流
 - 芋ほり（10月）

- ・地域市民の行事等に参加

恩方市民センター祭り（10月）

（2）実習・職業体験・ボランティア

- ・申し入れがあれば、検討してできる限り受け入れる。

（3）地域における公益的な取組

- ・園庭開放 > 日時：毎週金曜日（行事のない日）、対象：未就園児

- ・子育て相談 > 随時

- ・「べてるクラブ」 > 内容：保育園で遊ぼう、対象：小学生

実施：学年ごとに、年1回（6学年で6回）の開催とする。

日時：原則土曜日10時～11時、参加費：無料

7 苦情への対応策

苦情受付担当者：主 任 吉沢志保

苦情解決責任者：園 長 千原 創

第 三 者 委 員：2名委嘱 並木信一、澁谷実季

8 第三者評価への取り組み

2024年度の実施結果を検討し、課題を把握し、更なる改善に取り組む。

9 施設保守管理、施設整備・補修

（1）保守・点検

- ・建築設備定期検査（年1回）
- ・衛生害虫駆除（年2回程度） ・ダムウェーター保守（年6回）
- ・非常通報装置保守（年4回） ・空調機器保守（年1回）
- ・厨房内の機器や、事務機器等は適時行う。

（2）整備・補修等

整備等の実施：別棟のリフォーム（誰でも通園用）

保健室の薬品庫および小児ベット更新

パソコンの更新4台

午睡チェックシステム更新

補修等の実施：園舎職員玄関の改修

緊急（破損・老朽化等）に必要な場合や、状況に応じて必要が生じた場合は、予算状況を鑑みて判断し実施する。